

# 危険の確認(ハザードマップ)

ハザードマップは、災害予測地図とも呼ばれ、自然災害がもたらす被害を予測して、地図の上に被害範囲などを表したものです。

自宅や職場、学校などで災害が起こったときに、どの程度の被害が予測されるのか、どの経路や場所に避難すればよいのかなどを事前に確認しておきましょう。

市の被害想定については、防災カルテを確認してください。

それぞれのマップには、避難場所や日ごろの備えに関する情報なども記載しています。詳しくは、市ホームページや各区情報公開コーナーで提供している各ハザードマップを確認ください。



防災カルテ

## 洪水ハザードマップ

- 想定される最大規模の大雨によって堤防が決壊した場合などのシミュレーション結果に基づいて、浸水の範囲や浸水深などを示したものです。「荒川・入間川」など5種類を作成しています。



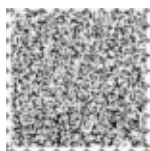
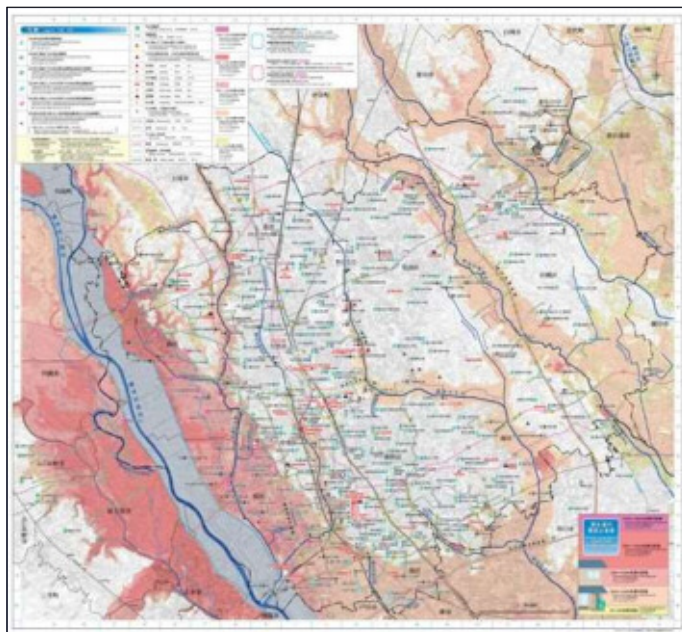
洪水ハザードマップ

このマップでは、浸水する深さが50cm未満になると想定される区域から、5m以上になると想定される区域まで、5つのランクに色分けしてあります。住んでいる地域などの浸水がどの程度なのか確認してください。

浸水想定区域以外の最寄りの避難場所、安全に移動できるルートなどを確認しておいてください。

浸水の状況が変化する場所もあるので、複数の避難場所、複数のルートを考えておきましょう。

河川のはん濫の恐れがある場所は、市から避難勧告、避難指示等が発令されます。はん濫した水の影響は激しく、堤防近くの家屋は破壊・流出の可能性があります。人命に危険がおよぶことも考えられるので、あらかじめ決めておいた避難場所へすみやかに避難してください。



音声コード掲載

# 浸水（内水）防災マップ

●市民の皆様から通報があった浸水情報をもとに、地形情報を考慮して、  
浸水が想定される区域を示したマップです。

浸水想定区域以外の最寄りの避難場所、安全に移動できるルートなどを確認しておいてください。激しい雨が続くと、洪水に移行する場合があります。気象、河川にかかわる警報や避難情報にも充分注意しましょう。



浸水（内水）防災マップ

**さいたま市 Saityama City 浦和区 Urawa Ward**  
**浸水(内水)防災マップ**  
Inundation (Inland water) Disaster Prevention Map 浸水内(水路)災避難 浸水(内水)防災マップ

**このマップの目的は？**  
市民の皆様から、内水による浸水が想定される区域や災害時に役立つ情報を提供し、もしもの時のために、日頃からの備えと対策をしていただくためのものです。  
This map provides useful information on anticipated inundation caused by inland water and other disasters, and helps you to make preparations for disasters.

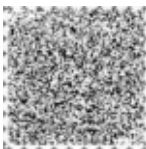
**このマップで得られる情報は？**  
○内水による浸水が想定される区域  
○避難所の行動の目安  
○情報の入手方法と伝わり  
○避難所の注意点  
○水害に備えよう

**内水による浸水とは？**  
雨の量が下水道などの能力を超えたり、河川の水位が高くなったとき、雨水が排水できずに溢れる浸水のことです。  
基礎、排水（外水はみど）後、河川の水位が高くなり、堤防を越えて水が溢れたり、決壊したりすることです。

ウェブサイトを（マップのURL）  
<http://www.city.saitama.jp/07/006/002001p015281.html>

北浦和公園・浦和北公園  
常盤小学校  
仲町小学校  
さいたま市役所 浦和区役所  
浦和警察署  
さいたま市消防局 浦和消防署  
埼玉大学 教育学部 附属小学校  
常盤公園  
仲町公民館

**浸水想定区域の表示例（さいたま市役所周辺）**



音声コード掲載



# 危険の確認(ハザードマップ)

## 土砂災害ハザードマップ

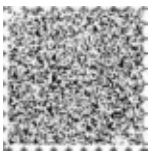
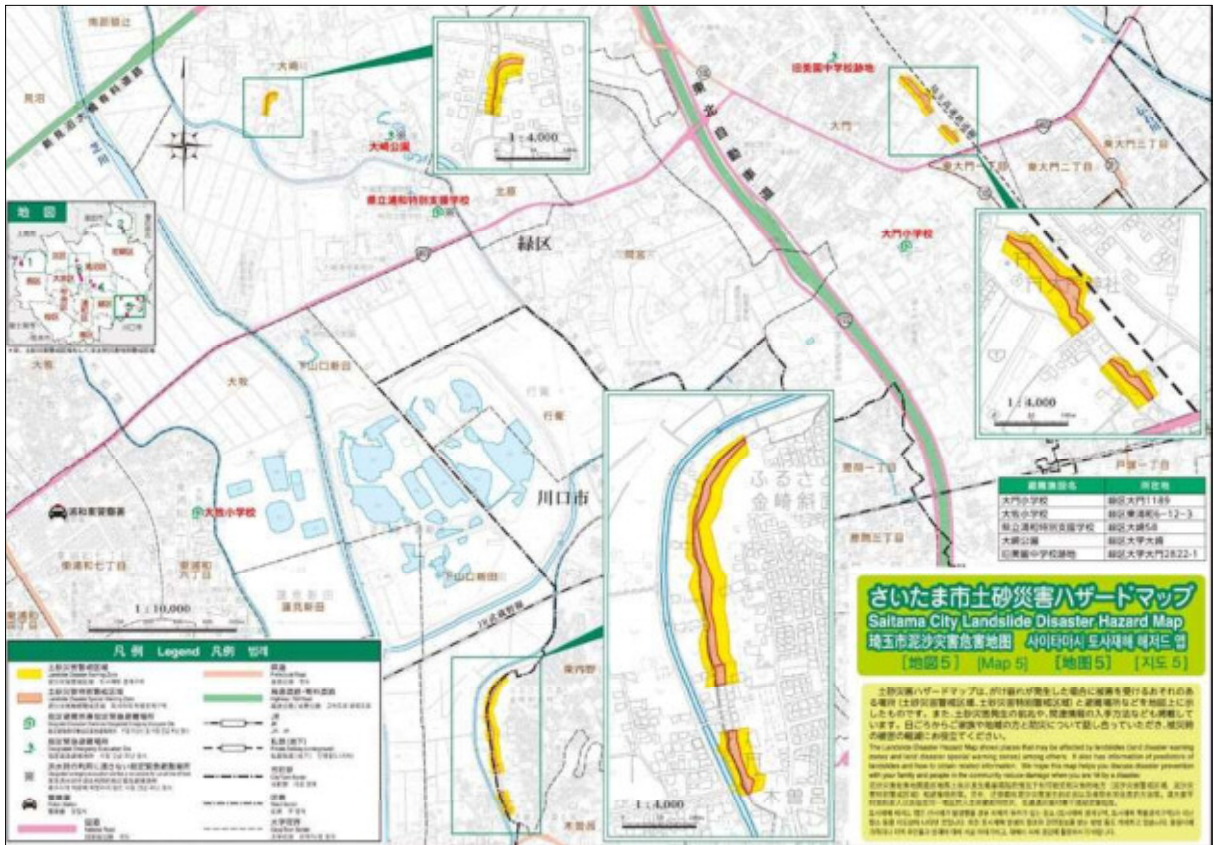
●がけ崩れなどが起こったときに、被害を受けるおそれがある場所を示したマップです。

市で発生するおそれのある土砂災害は、急傾斜地の崩壊のみです。  
 自宅や勤め先、ふだんからよく利用する場所の近くにがけ地がないかを確認し、複数の避難場所、避難ルートを考えておきましょう。

市は、土砂災害警戒情報が発表された場合、避難勧告等の避難情報を発令しますが、発令されていない場合でも、身のまわりに危険を感じる時は、自主的に避難することも大切です。



土砂災害  
ハザードマップ



音声コード掲載

# 危険の確認(市の情報システム)

市では、インターネットを通じて被害想定に関する情報を提供しています。災害に備えるために、どのような危険があるかを確認しましょう。

## さいたま市水位情報システム

- 市内で観測している水位情報やカメラ画像を提供しています。



水位情報システム

各観測地点の水位グラフやカメラ画像などを見ることができます。大雨時などの情報収集に活用ください。



## 防災まちづくり情報マップ

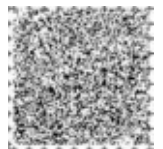
- さいたま市地図情報の中で、災害リスクの情報を公表しています。



さいたま市地図情報

自宅などの住所を入力すれば、ピンポイントで身近な災害リスクの情報を確認することができます。

大規模地震時に発生した火災が広範囲に燃え広がる可能性がある「延焼リスク」や倒壊する恐れのある建築物が避難路をふさいだ場合などの「避難困難リスク」といった地震災害に関するリスク情報のほか、主要河川の洪水ハザードマップなども掲載しています。



音声コード掲載

# 地震が起きたとき、起きた直後の行動

大きな地震が発生したとき、冷静に対処するのは難しいものです。しかし、一瞬の判断が生死を分けることもあります。いざというときあわてないために、適切な行動パターンを覚えておきましょう。

- 震度5弱以上が予想される場合、テレビやラジオ、携帯電話などから緊急地震速報が発表されます。
- 速報発表から揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒くらいです。

市内で震度5弱以上の揺れが予測され、地震の到達まで一定時間の猶予がある場合のみ、Jアラート(全国瞬時警報システム)を通じて、防災行政無線から自動的に放送を行います。



- 火元を確認し、出火していたら初期消火を行いましょう。
- 家族の安全を確認しましょう。
- 非常持出品を用意しましょう。
- ガラスの破片などから足を守るために、靴を履きましょう。

土砂災害などの危険がある地域では早めに避難しましょう。



- テレビ・ラジオ等で正しい情報を確認しましょう。

SNS の情報はデマなど不確かな情報に惑わされないよう注意しましょう。

- 子どもを迎えに行きましょう。  
ただし、学校のルールに従いましょう。自宅を離れるときは、行き先を書いたメモを残しておきましょう。
- ガスの元栓を閉める、電気のブレーカーを切るなど、出火の防止に努めましょう。



- 生活必需品は自らの備蓄でまかないましょう。
- 地域の広報に注意して、地域の災害や被害の情報を集めましょう
- 引き続き余震に注意しましょう。  
避難所に避難した場合は、お互いに助け合いましょう。



- 頑丈な机の下に隠れるなど、まず自分の身を最優先に守りましょう。
- 火の始末をしましょう。  
揺れが激しいときは無理をせず、大きな揺れがおさまってから確認しましょう。都市ガスはマイコンメーターの安全装置が作動し、自動で止まります。
- ドアや窓を開けて逃げ道を確保しましょう。



- 隣近所の安否を確認しましょう。  
特に一人暮らしの高齢者など要配慮者がいる家には積極的に声をかけましょう。
- 余震に注意しましょう。  
大きな揺れがおさまった後、さらに揺れが起こることが多いので十分な注意が必要です。



- 近隣住民と協力して消火や救出活動を行いましょう。
- こまめにテレビ・ラジオなどで正しい情報を確認しましょう。
- 家屋倒壊などの恐れがある場合、早めに避難所などに避難しましょう。



音声コード掲載



音声コード掲載



# 「わが家の防災」をチェックしよう

9月1日は、関東大震災が発生した日です。また、9月から10月にかけては特に台風の接近・上陸が多い時期です。このため、台風や地震などの災害への認識を深め、心の準備をするために、9月1日は「防災の日」として制定されています。

災害はいつ起こるかわかりません。いざというときはどうするのか?などを、防災の日はもちろん、日ごろから家族で話し合い、準備しておくことが大切です。

毎日が防災の日と考え、「わが家の防災」をチェックしてみましよう。



大きな地震や台風がきたら、お家はどうなるの？

災害が起こったとき、どんな被害が予測されるかは、ハザードマップや防災カルテを見ればわかるよ。一度みんなで見てみよう。(5~7ページを参照)



大きな地震がきたら、どうすればいいの？

地震が起こったときに一番大事なの、自分の身を守ることなんだ。どうすれば、身を守ることができるかを考えてみよう。(9、10、20、21ページを参照)



地震が起こったときは、警察や消防の人が助けてくれるんだよね？

大きな地震のときは、警察や消防の人がすぐにかけつけてくれるとは限らないから、隣近所の人たちと力をあわせて助け合うことが重要なんだ。そのために地域には自主防災組織があるんだよ。(41~43ページを参照)



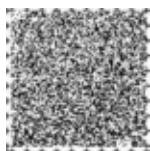
ひとりで外にいるときは、携帯電話やメールで連絡すればいいの？

災害のときは、つながらない可能性もあるから、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板の使い方も覚えておこうね。(14ページを参照)



ニュースで見ると大雨や洪水も怖いよね。

いつどこで起こるか予想が付きにくいから、普段からの備えが大事なんだよ。いざというときのために、気象情報の意味を知っておく必要もあるね。(30~34ページを参照)



音声コード掲載



災害が起こったとき、状況がわからないと不安ね。

防災に関する情報は、防災行政無線のほか、テレビやインターネットのサービスでも知ることができるんだ。落ち着いて行動するためにも正確な情報を知ることが大切だよ。(37～39ページを参照)



災害のとき、お隣のおばあちゃんは大丈夫かしら？

お年寄りや障害のある人、ほかにも赤ちゃんを抱えたおかあさんや妊婦さん、そして外国の人は避難のときにサポートが必要だから、普段から気にかけておくことが大事だね。(44～46ページを参照)



いざという時のために、何を用意しておけばいいの？

食べ物や飲み物、ほかにも身を守るための防災グッズや気持ちよく生活をするための日用品などを準備しておく必要があるね。食べ物や飲み物は、7日分を備蓄しておくのが目標だよ。備蓄品はみんなのわかる場所に置いておこう。(15ページを参照)



災害のとき、避難所での生活はちょっと不安ね。

知らない人たちとの共同生活では、お互いのプライバシーの尊重とか、色々と気を配ることもあってストレスも多いから、家が壊れたりしていなければ、家の中で避難生活を続けていけるように準備をしておこう。(17～19ページを参照)



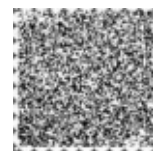
防災ってすごく大事だね。

その通り。それに応急処置の仕方や消火器の使い方などを知っておくと、落ち着いて対応することができるよ。(52、53ページを参照)



大型の台風が心配ね。

そうだね。半径500km以上の台風だと、風速が秒速40mを超えることもあって、家にも危険を感じるね。大型の台風の時は、市が開設する自主避難者のための避難所へ行くこともできるよ。その時は、食べ物や飲み物は自分で持っていかなくてははいけないね。(15、16ページを参照)



音声コード掲載







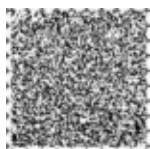
# 非常持出品・備蓄品

災害が発生した後、避難するときに必要なものを両手が自由に使えるリュックなどに詰めて、非常持出袋として準備しておきましょう。

なお、荷物や決めごとが足かせとならないよう、まずは命を守るために必要なことを考えてください。長期的な避難生活に必要なものは、とりあえず避難してから、後で自宅へ取りに戻ることも考えられます。また、在宅避難をするときに、災害復旧までの数日間を生活できるよう、備蓄品を分けて用意しておきましょう。

☑チェックリスト

<b>基本の非常持出品</b>	<input type="checkbox"/> 携帯用トイレ	<input type="checkbox"/> 缶詰	<b>燃料</b>
<b>貴重品類</b>	<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> 簡易食(あめ・チョコなど)	<input type="checkbox"/> 卓上コンロ
<input type="checkbox"/> 印鑑	<input type="checkbox"/> ティッシュ	<b>衣料品</b>	<input type="checkbox"/> 予備のガスボンベ
<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/> 下着	<input type="checkbox"/> 固形燃料
<input type="checkbox"/> 預金通帳	<input type="checkbox"/> 筆記用具	<input type="checkbox"/> 靴下	<b>生活用品</b>
<input type="checkbox"/> 免許証	<input type="checkbox"/> メモ帳	<input type="checkbox"/> 長袖	<input type="checkbox"/> 毛布
<input type="checkbox"/> 保険証	<input type="checkbox"/> ビニール袋	<input type="checkbox"/> 長ズボン	<input type="checkbox"/> タオルケット
<b>避難用具</b>	<b>救急用具、衛生用品</b>	<input type="checkbox"/> 防寒ジャケット	<input type="checkbox"/> 寝袋
<input type="checkbox"/> 非常用ライト(懐中電灯・ヘッドライト・ネックライト)	<input type="checkbox"/> 救急箱(絆創膏、消毒液、栄養補助食品)	<input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> なべ
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 処方箋やお薬手帳のコピー	<b>基本の備蓄品</b>	<input type="checkbox"/> やかん
<input type="checkbox"/> 予備の電池	<input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、便秘薬、持病の薬)	<b>食料品</b>	<input type="checkbox"/> 簡易食器(わりばし・紙皿・紙コップなど)
<input type="checkbox"/> モバイルバッテリー(電池式)	<input type="checkbox"/> 洗面用具	<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> ラップ
<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> 歯磨きセット	<input type="checkbox"/> 米	<input type="checkbox"/> アルミホイル
<input type="checkbox"/> 防災ずきん	<input type="checkbox"/> マウスウォッシュ	<input type="checkbox"/> 缶詰	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ
<b>生活用品</b>	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> レトルト食品	<input type="checkbox"/> バケツ
<input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	<input type="checkbox"/> スープ	<input type="checkbox"/> 工具類(ロープ・バール・スコップなど)
<input type="checkbox"/> ライター	<b>非常食品</b>	<input type="checkbox"/> 調味料	<input type="checkbox"/> 新聞紙
<input type="checkbox"/> 缶切り	<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 麺類	<input type="checkbox"/> 布ガムテープ
<input type="checkbox"/> ろうそく	<input type="checkbox"/> 乾パン	<input type="checkbox"/> 菓子類	
<input type="checkbox"/> ナイフ			



音声コード掲載

# 多様なニーズに合わせた備え

基本の非常持出品に加えて、乳幼児、妊婦、要介護者、ペットがいる家庭に役立つものや、女性特有のニーズに合った備えを用意しておくで安心です。

## ☑チェックリスト

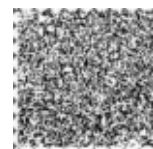
乳幼児・妊婦がいる家庭に役立つもの		女性のために役立つもの	ペットや補助犬のために役立つもの
<input type="checkbox"/> ミルク	<input type="checkbox"/> 授乳ケープ	<input type="checkbox"/> 生理用品(生理1周期分)	<input type="checkbox"/> ケージ
<input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳びん	<input type="checkbox"/> 母子健康手帳	<input type="checkbox"/> おりものシート	<input type="checkbox"/> ペットフード
<input type="checkbox"/> 離乳食	<input type="checkbox"/> マタニティマーク	<input type="checkbox"/> サニタリーショーツ	<input type="checkbox"/> 水
<input type="checkbox"/> アレルギー対応食	<input type="checkbox"/> おもちゃ	<input type="checkbox"/> 紙ショーツ	<input type="checkbox"/> 常備薬
<input type="checkbox"/> 紙コップ		<input type="checkbox"/> 携帯用ビデ	<input type="checkbox"/> 予備の首輪
<input type="checkbox"/> スプーン	<b>高齢者、要介護者がいる家庭に役立つもの</b>	<input type="checkbox"/> 軟膏(デリケートな場所の保護)	<input type="checkbox"/> 伸び縮みしないリード
<input type="checkbox"/> 紙おむつ	<input type="checkbox"/> 大人用紙おむつ	<input type="checkbox"/> カップ付きインナー	<input type="checkbox"/> ハーネス
<input type="checkbox"/> おしり拭き	<input type="checkbox"/> 紙パンツ	<input type="checkbox"/> 中身の見えないごみ袋	<input type="checkbox"/> 使い捨てエサ皿
<input type="checkbox"/> 携帯用おしり洗浄器	<input type="checkbox"/> 杖	<input type="checkbox"/> スキンケアクリーム	<input type="checkbox"/> ガムテープ
<input type="checkbox"/> おんぶひも	<input type="checkbox"/> 入れ歯	<input type="checkbox"/> 化粧水	<input type="checkbox"/> ペットシート(トイレ用品)
<input type="checkbox"/> 抱っこひも	<input type="checkbox"/> 入れ歯用洗浄剤	<input type="checkbox"/> メイク落としシート	<input type="checkbox"/> タオル
<input type="checkbox"/> ガーゼハンカチ	<input type="checkbox"/> 介護用品	<input type="checkbox"/> アロマオイル	<input type="checkbox"/> ブラシ
<input type="checkbox"/> 洗浄綿	<input type="checkbox"/> 老眼鏡	<input type="checkbox"/> 香水	<input type="checkbox"/> キャリーバック
<input type="checkbox"/> スタイ	<input type="checkbox"/> 補聴器		<input type="checkbox"/> おもちゃ
<input type="checkbox"/> 母乳パッド	<input type="checkbox"/> 障害者手帳		<input type="checkbox"/> 迷子札(飼い主の連絡先・飼い主以外の緊急連絡先)
	<input type="checkbox"/> ヘルプマーク		

災害時に哺乳びんが無くてもコップを使って授乳することもできます。万が一に備え、日頃から練習することも大切です。

被災時や非常時には、食料や水などの物資がすぐに手に入らない可能性があります。

また、人それぞれに特有の生活必需品もあります。

自分たちのふだんの生活に必要なものは何かをチェックし、非常持出品・備蓄品として日ごろから準備をしておくように心がけましょう。



音声コード掲載



# 自宅で避難生活を送るポイント

避難所は、自宅が大きな被害を受け、自宅での生活が困難な人々のために開設されます。避難所は共同生活のため、プライバシーを守ることも難しく、居住スペースや物資にも限りがあり、決して良好な環境とはいえないため、ストレスなどで体調を崩してしまうこともあります。

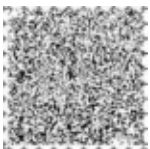
自身と自宅の安全を確保できたならば、住み慣れた自宅での生活を続ける「在宅避難」を強くおすすめします。また、被災後は無理に出勤しないようにするとともに、夫婦の場合は、お互いに育児や介護などを行うようにしましょう。

## ① 在宅避難の判断

■災害が発生したら、まずは自分や家族、周りの人の安全を確保しましょう。

落ち着いたら火の元を確認し、一時集合場所や指定緊急避難場所（47 ページ参照）へ避難しましょう。危険がおさまったら自宅に被害があるかを確認します。被災を免れて安全に居住できることが確認できた場合は、自宅に戻って在宅避難となります。

なお、在宅避難者は自主防災組織などからの報告や、避難所へ直接来所した際に避難者カードでの受付によって避難者台帳に登録され、指定避難所から情報の提供、物資の配給が行われます。



音声コード掲載

## ② 自宅の片付け



■災害の後、家具や家電が倒れたり、ガラスなどが飛び散ってしまったりした場合は、安心して生活ができるスペースを確保するために片付けを行きましょう。

片付けをするときには、ケガをしないよう十分に注意することが重要です。

- 厚手の手袋をする、厚底の靴を履くなどして、身を守りましょう。
- 窓が割れてしまったときは、ガムテープやブルーシート・段ボールなどで応急処置をして窓をふさぎましょう。

### ③ 水道・電気・ガスなどの代替

災害によって、水道・電気・ガスといったライフラインが使えなくなる可能性があります。

- 飲料水や非常用ライト、カセットコンロなどを準備しておきましょう。
- 電池やガスボンベなどの予備も用意しておきましょう。
- また、上下水道が使えなくなったときのために、非常用トイレも備えておきましょう。(19ページ参照)

### ④ 防犯対策

これまで被災地では、混乱に乗じた犯罪が多数発生しました。

避難時は、普段よりも防犯意識を強くもつことがとても大切です。

また、突然の訪問者などには十分に注意し、不審に思ったときや不安を感じたときには、落ち着いて「#9110」もしくは最寄りの警察署に通報・相談をしましょう。

#### ■ 防犯のポイント

##### ● 外出時には、必ず鍵をかけましょう

また、できるだけ一人で行動しない、笛や防犯ブザーを持ち歩く、暗がりやひと気のない場所は避ける、不審者に注意するなど、自らを守る意識と行動を心がけましょう。



##### ● 家の周囲を整えましょう

家の周囲をきれいにすることによって、在宅をアピールし、空き巣などにねらわれないように行動しましょう。また、玄関のまわりに人感センサー付きの防犯灯を取り付けるのも効果的です。

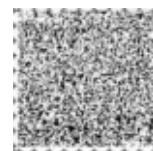
##### ● デマ情報に惑わされないよう十分に注意しましょう

SNSなどでデマなど不確かな情報が拡散される可能性があります。

落ち着いて情報の発信元を確認するなど、冷静に判断をすることがとても大切です。

##### ● 突然の訪問者に気をつけましょう

災害時には、被災地の方の不安につけこんだり、善意の気持ちを逆にとったりした詐欺や悪徳商法の被害が増えます。必ず訪問者の身分などを確認するようにし、ひとりでの対応や判断を避けるようにしましょう。



音声コード掲載

# 備蓄のポイント

大災害が発生すると、お店から商品がなくなり、公的な支援物資もすぐに届かない可能性があります。特に「在宅避難」の場合は、15ページのチェックリストにある備蓄品を準備するほか、食料品や飲料水などは十分な量を用意しておきましょう。

## 備蓄品の例

### ●食料品

缶詰やレトルト食品などの非常食は、「在宅避難」の場合、7日以上を備蓄しましょう。

栄養補助食品や調味料などがあると便利です。

特に高齢者や乳幼児、アレルギー体質者など、それぞれの家族の事情に応じた食料が必要な場合は多めに準備しておきましょう。

### ●飲料水

一人1日3リットルが目安で、「在宅避難」の場合、7日以上を備蓄しましょう。また、水の配給を受けるために、給水タンクを用意しておきましょう。

応急給水場所は市ホームページで確認することができます。



応急給水場所



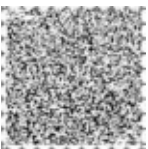
## ローリングストック（回転備蓄）を活用しましょう

ローリングストックとは、日常の食品を少し多めに買い、古いものから順に食べてその分だけ買い足すことで、鮮度を一定に保ちながら常に一定量の食品を備蓄しておく方法のことです。缶詰やレトルト食品などのほか、麺類、菓子類、びん詰加工食品など日持ちする食品を備えておきましょう。

### ●非常用トイレ

一人1日5回分が目安で、「在宅避難」の場合、7日以上を備蓄しましょう。

また、水道が使えなくなった場合などに備えて、ティッシュペーパーやラップ、アルミホイル、ビニール袋などを準備しておきましょう(15ページ参照)



音声コード掲載